

中村たいすけ だより

発行責任者：中村泰輔 / 編集責任者：中山好文

令和3年

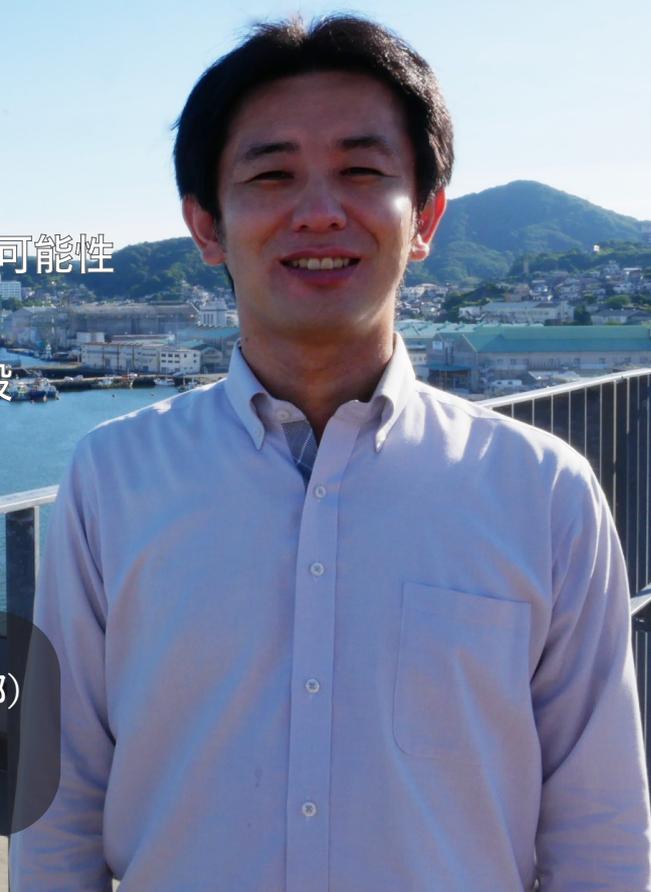
6月議会

『特集』

- ◆長崎県の洋上風力発電工場誘致の可能性
- ◆長崎の海と魚のWEBメディア
～「うみとぴあ」開設
- ◆戸石「ゆうこうシマアジ」発売

南北幹線道路（茂里町～時津町野田郷）

令和3年度6月議会 補正予算



夏の暑さも日々強くなってきておりますが、水分をしっかりと取っていただき、くれぐれも熱中症にならないようにお気をつけください。今回の議員だよりは、私のメインテーマとして掲げる『長崎海洋産業都市構想』の実現に向けて、『洋上風力発電』と『水産業支援プロジェクト』について、現在の取り組み状況をご報告します。人口減少対策も社会保障の充実も、産業・雇用の安定なしにはあり得ません。海洋県長崎、アジアの玄関口長崎、としての特長を生かした政策で、造船業や水産業の基幹産業を守りながら、新産業創出に向けて取り組んで参ります。

経済、
新幹線、
海洋産業。

中村
たい
すけ



長崎の海とさかなのWEBメディア 「うみとぴあ」開設



▲「うみとぴあ」ウェブサイト



「海洋産業都市構想」を掲げ活動していく中で、多くの方たちに出会い、発信そのものの重要性を知りました。

例えば水産業においては、漁業者の方達自身に「発信・加工・販売」と全ての作業を任せしちゃうのではなく、それぞれが得意な人たちが繋がれば活性化すると考え、長崎市戸石のたばな漁協さんの発信業務等にこれまで意見を伝えてきました。その一環として、政策秘書の山中が中心となり、長崎の海とさかなをテーマにしたウェブメディア「うみとぴあ」を開設しました。

生産者や飲食店の皆さまの働きを応援するために、中立的立場で発信をお手伝いすることを目指しており、既に多くの事業者様からお声かけいただいて広報活動のサ

ポートをしています。

開設してすぐに長崎国際テレビさんからの取材を受け、特集の中で山中の活動を密着していただきました。海にまつわる話題を幅広く取り扱っていきたく考えており、洋上風力発電事業や海のゴミ問題などもテーマに据えて、皆さまと共に『海』を考える機会にしていけたらと願っています。

動画コンテンツと連動した展開をしているため、Youtubeアカウントでも「うみとぴあ」として活動しています。現在はウェブサイトを中心に、Twitter・Youtubeで発信しています。広くライターを募集し、多くの方々に参加していただきながら海に関わる記事を投稿していきませひみなさま、「うみとぴあ」の活動にご注目いただき、参加してください。共に、長崎を海から盛り上げていきたいと思います！！

▼「うみとぴあ」Youtube



▲生産者さんのお仕事を取材し、動画にして配信しています。皆様の食卓に届くまでのストーリーを知っていただき、安心安全な食を提供する生産者さんを応援してもらいたいという思いで取り組んでいます。



戸石

ゆうこうシマアジ発売



これまで「長崎県のブランド魚に「フルーツ魚」を！」との思いで取り組んできました。その第一弾として、戸石の牧島でいち早く「ゆうこうシマアジ」を生産してきた昌陽水産の長野さんのシマアジを、五島を除く長崎県・佐賀県のエレナさんにて大々的に販売するお手伝いをさせていただきました。

日本で随一のフルーツ魚の専門家である高知大学水族学研究室の深田陽久准教授のアドバイスを得ながら、長崎県の取り組みとして「フルーツ魚」プロジェクトが県下に展開できるように進めています。

「ゆうこう」は伝統的な食文化を守る活動を行っているスローフード協会国際本部（イタリア）の「食の世界遺産」にも登録されています。長崎市だけで生産されている希少価値の高い柑橘です。柑橘の搾りかすを混ぜた餌を食べた魚は抗酸化作用により鮮度をより長く保つことがわかっています。

生産者の皆様により良い魚を作るために長崎市水産センターにおいて平成二十七年から三十年まで行われた研究の結果、ゆうこうシマアジは誕生しました。今後、4事業者によって「戸石ゆうこうシマアジ」が世に売り出されていくことになりました。

コロナ禍でトラフグの需要が落ち込む中、高級魚シマアジの生産をはじめ魚種を増やして産地を助ける取り組みが行われています。

「ゆうこうシマアジ」はしばらくの間、毎週末の金・土・日の三日間、エレナさん各店舗にて販売されています。これまでほぼ飲食店でしか食べられなかったシマアジを、ご家庭で召し上がっていただけるチャンスです。

ゆうこうの効果で、臭みもクセもなく、非常に食べやすいお魚なので、お刺身が苦手なお子様にも食べていただきたい一品です。

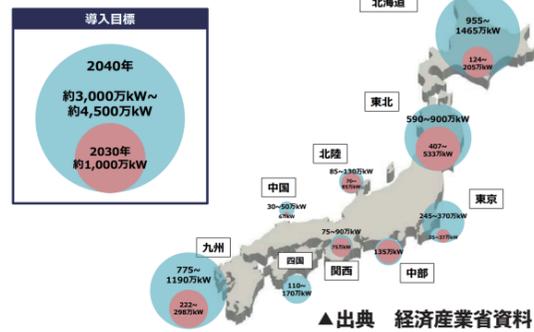
これからの長崎の新しいブランドとして認知されるように、引き続き県下で「フルーツ魚プロジェクト」を進めてまいります。

図1 IEAによる各国政府目標をふまえた洋上風力発電の導入予測（2040年）



▲出所「IEA Offshore Wind Outlook 2019」（公表政策シナリオ）

図2 エリア別導入イメージ

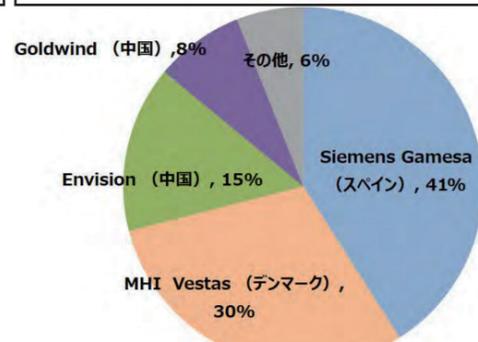


長崎県での洋上風力発電工場誘致の可能性

図3 世界各地域の市場予測



図4 世界の洋上風力発電タービンメーカーシェア（2018）



2050年カーボンニュートラル実現の切り札として、洋上風力発電への期待が急速に高まっています。「再エネ海域利用法」に基づき、指定した洋上風力の促進区域について公募を進め、五島市沖が日本初の促進区域の指定を受け、戸田建設を中心としたコンソーシアム事業者に決定しました。

政府は昨年末に洋上風力の導入目標を『2040年までに世界3位前後の3000万~4500万kW（国内原力発電導入量同規模）』と示し、国内市場の創出をコミットしました（図1）。尚、日本では北海道・東北・九州が特に大きなポテンシャルがあります（図2）。また、世界では、アジアが2050年には世界の6割のシェアを占めると言われており（表1）、中でも東アジアや東南アジアに集中してい

ます。

洋上風力の発電設備は部品数が多く経済波及効果が大きいことから、国内でのサプライチェーン形成を図るべく、補助金・税制等による設備投資支援を措置しているほか、関連する規制の合理化等を進めています。注目されていた「サプライチェーン対策のための国内投資促進事業費補助金（2次）」に、先日ベスタス・ジャパン（株）が採択された（製品：洋上風力発電関連（ナセル）、事業実施場所：長崎県。これまでも新聞紙上で取り上げられていたが、洋上風力発電タービンメーカーとして世界2位のシェア（図3）を有するベスタスが、長崎県で洋上風力発電事業を展開したいという意思が、今回正式に示されたこととなります。また、これまで私も長崎1区選出の西岡秀子衆議

院議員を通して、「洋上風力発電メーカー工場誘致における長崎市香焼の優位性」について、経済産業大臣に要望し、大臣からも長崎の優位性を理解したとの言葉を頂きましたが、国からも正式に長崎県の洋上風車製造の可能性が明確に示されたと判断しています。

上記の導入計画では、一年間に1GW（原発一基分）の導入となりますが、具体的にはベスタスの最新型の15MW級風車が日本海域に百本近く建設されることとなります。ちなみに、15MW級は長崎市の稲佐山と同じくらいの高さです。日本海域の全ての洋上風車を長崎で製造するのは困難ですが、その多くのシェアを獲得できれば、我が県のこれから二十年間を支える基幹産業となり得ます。

政府としては、日本版セントラル方式（海域指定から各種許可や系統接続などの必要な手続きを国が済ませた上での競争入札）を確

立しようとしています。各都道府県も独自でセントラル方式を実施するよう求めています。五島市沖は日本初の促進区域に指定され、我が県には他県にはない先進的な知見があります。入札では地域貢献が評価されるため、その知見を生かして本県が県独自のセントラル方式を実施することで、長崎の広大な海域が促進区域に指定されれば、長崎で製造される洋上風車のシェアは当然高くなります。

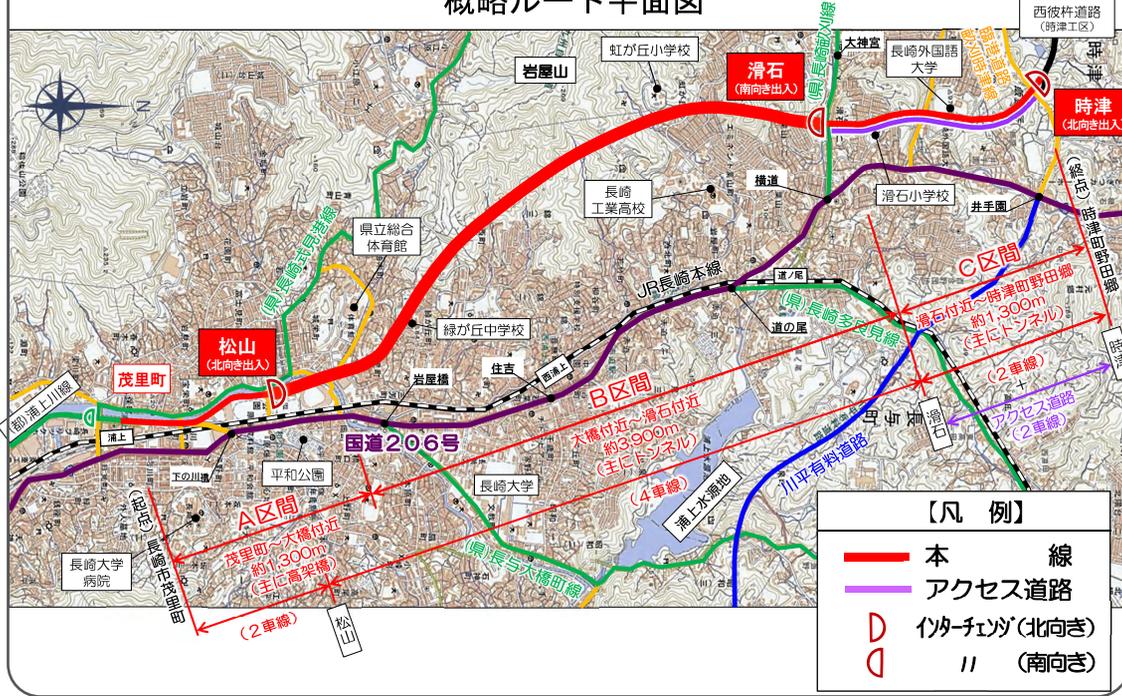
この洋上風力発電事業を長崎の新たな産業とし、長崎を洋上風力のアジアのメインファクトリーにすることが、私の1丁目1番地の政策です。

この洋上風力と造船の両輪が長崎の海洋産業を支えます。次号では造船業強化の法案について報告します。

(仮称) 都市計画道路 長崎時津 縦貫線

長崎南北幹線道路 (長崎市茂里町～時津町野田郷)

概略ルート平面図



長崎市茂里町～時津町野田郷を通る南北幹線道路について詳細が発表されました。
この幹線道路は来年度の着工を目指しており、十年を超える長きにわたる工事が計画されています。費用は国と地方で半分ずつの見込みです。茂里町、時津のどちらから工事を開始するのはこれから議論されます。

橋脚が立つ松山陸上競技場周辺に影響があることが予想されています。現在はまだ計画段階であり、今後の県民の皆さまの意見を踏まえて方向修正を加えながら整えられていきます。その上で国に対して事業化認定を求める計画となっております。皆さまからのご意見・ご要望を引き続きお待ちしております。

補正予算の総額	

一般会計令和3年6月補正予算 ▶ 37億3,240万8千円 **増**

＋
現計予算

一般会計総額

= 7,813億3,837万8千円

主な事業名	補正予算(一円)	内容
運営費交付金	23,754	新型コロナウイルス感染症の影響に伴う収入の減少等により、意欲ある学生が就学を断念することがないよう、条件を満たした経済的に困窮している学生に対して県立大学が行う授業料減免を支援。 【減免額】 授業料年額の1/6(89,300円)
私立専門学校生への経済的支援事業費	9,972	新型コロナウイルス感染症の影響に伴う収入の減少等により、意欲ある学生が修学を断念することがないよう、条件を満たした経済的に困窮している学生に対して私立専修学校が行う授業料減免を支援。 【補助率】 2/3 (一人当たりの補助上限65,600円)
生活福祉資金貸付事業費	2,496,376	新型コロナウイルス感染症の影響による休業等で収入源となっている世帯への資金需要に対応するため、生活福祉資金の貸付を行う長崎県社会福祉協議会への貸付原資等を補助。(申請期間の延長に伴う増額)
新型コロナウイルス感染症対策セーフティネット強化事業費	49,320	長期化する新型コロナウイルス感染症の影響により、緊急小口資金等の特例貸付の利用できない条件を満たした生活困窮世帯に対し、就労等による自立を図るため、新たな支援金を支給。 【支援額(月額)】 単身世帯：6万円 / 二人世帯：8万円 / 3人以上世帯：10万円
新型コロナウイルスワクチン接種体制推進事業費	949,521	新型コロナウイルスワクチンの接種を加速させるため、診療所等における個別接種促進のための支援を実施。 ・診療所における接種回数の底上げ ・接種施設数(診療所及び病院)の増加 ・病院における接種体制の強化
一般災害対策費	20,000	自然災害が発生した際に、国の支援制度の対象とならない市町の被災者に対して支援金を支給するため、市町と一体となって本県独自の被災者生活再建支援制度を創設。 【支援金額】 住宅の被害程度(全壊、大規模半壊など)等に応じ、25万円～300万円
先導的官民連携支援事業費	11,165	松が枝地区の岸壁延伸事業にあわせ、民間収益施設と港湾施設との一体的な整備・運営を図るPPP/PFI事業の導入可能性や交通結節機能の検討等の調査を実施。

中村たいすけ

✉ nakamura.taisuke.nagasaki@gmail.com

☎ 080-5202-5721

🏠 長崎市みなと坂1丁目



お気軽に、ご相談ください。